



電流駆動型 Digital to Analog Converter

# E1-KRS

アンプ回路設計の大前提である「電圧駆動型」からコペルニクス的な歴史転換点となる  
世界初の帰還型「電流駆動型」Digital to Analog Converter (DAC)。

DAC回路で課題となるアナログ回路の出力段を電流駆動に置き換え  
絶対的な電源安定を支える4重化電源により、別次元の高解像度と駆動力を実現。  
接続アンプ直前に装着する新開発『Analogue Current Drive Adaptor』により  
アナログ回路ならではの自然で繊細で純度の高い音響特性を無限に創造することが可能。  
いっさいの妥協をせず、徹底したこだわりで、唯一無二の世界最高峰を。



妥協なき究極の原音再生のために一切の装飾を排して、Direct、Straight、Pureな  
設計思想を徹底。信号増幅では小型筐体により最小距離の配線、回路基板を新開発。  
通常 quantity 製造プロセスでは不可能な、搭載部品ひとつひとつを楽器製造のごとく  
開発設計者自らが見極めて、一台一台を手作りで製造します。

- ・ 帰還型として世界初『Current Drive (電流駆動型)』信号増幅回路 (特許申請中)
  - ・ 従来必要とされたインピーダンスに依存するヘッドフォン毎のゲイン切り替えが不要に
  - ・ 圧倒的なドライブ能力と限りなく原音に忠実な音場 & 超解像度を両立
- ・ 4重安定化電源 & コンデンサーの癖を廃した各増幅段電源駆動 (特許申請中)
- ・ 標準35 $\mu$ m以下のところ業界規格外の超厚銅箔4層基板
  - ・ 電源、GND配線用第2層、第3層には200 $\mu$ mの分厚い無酸素銅  
超低インピーダンス配線によるハイスピード、超高解像度を実現
  - ・ 信号用に第1層、第4層は銅厚約100 $\mu$ m  
アナログ部はレジスト塗装せず金フラッシュ仕様
- ・ Advanced Current Segment方式 USB-DAC
  - ・ DACは軽薄さがなく中低域の厚みに定評あるPCM1792A採用
  - ・ 業界初1ppm/°C偏差電源供給を礎とした精密なアナログ変換
- ・ 選び抜いた最高品質の部品を使って試聴を繰り返してチューニング
- ・ 航空機グレードのアルミニウムブロックから削り出した堅牢な筐体
- ・ 予定価格：250万円 (税別) 税込270万円 【受注生産】

\* 当『E1-KRS』ご使用のために必要な外部型電源筐体 LFPP (Lithium Ferrite Power Plant)は、別売 30万円 (税別) ですので  
製造元ケンリックサウンド社にお問い合わせ下さい。

※詳細カタログ (PDF) はこちらをご覧ください。